#### 愛知県 水田有機農業省力化推進事業

水田 (V直栽培) における農薬を使わない除草・抑草技術の研究開発を 県農業総合試験場と共同で行う企業や研究機関等を募集します!

公募期間:5月2日~6月28日

### 公募内容

水稲栽培の有機農業の取組拡大に向けて、愛知県で普及している不耕起 V溝直播栽培において、農薬を使わない除草・抑草技術(ロボット、ア タッチメント、物理的防除、新規資材など)の開発を、愛知県農業総合 試験場との共同研究により実施する事業者を募集します。

1つを

選択

- (1) スマート有機農業技術の開発(プロトタイプ作成まで)
  - ① 乾田期間の除草・抑草技術
- ② 湛水期間の除草・抑草技術
- ③ ①と②の両方に適用できる技術 .
- (2) プロトタイプによる実証試験の実施
- (3)研究開発計画の作成

## 公募条件

委託研究費 (研究開発に係る経費)	1,00万円 (限度額)
選定予定件数	2件 (内容・金額により増減 する場合があります)
応募資格	企業、大学、研究機関等 共同提案・複数提案も可能
募集期間	2024年5月2日 ~6月28日
契約期間	契約後、2025年3月21 日まで

### 募集要項・応募様式

募集要項や、説明会・見学会の詳しい内容については、以下をご覧ください!

詳しい内容は裏面に!

# 公募説明会

# 5月16日

(参加申込:~5/13) 県庁 及び オンライン で開催! 関心のある方はぜひ ご連絡ください!

現地見学会 第1回5月22日 第2回6月14日

農総試で開催! ぜひ現地で∇直栽培を ご確認ください!

https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-keiei/suidenyuuki.html



愛知県農業水産局農政部農業経営課

お問合せ先 農業イノベーション推進室 イノベーション推進グループ (伊藤)

電 話:052-954-6413

メール: nogyo-innovation@pref.aichi.lg.jp

### 不耕起V溝直播栽培の特徴

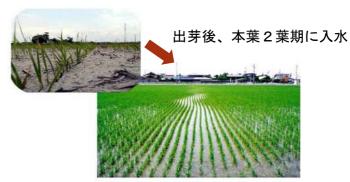
- 1994年に愛知県が開発した水稲乾田直播栽培方法(通称: V直栽培)。
- 前作収穫後、春までのうちに耕起・整地(浅耕鎮圧または代かき等)を行い、 ほ場を均平にして乾かす。
- 2月以降に専用の播種機により、乾田状態の田面にV字型の溝を付けながら 深さ5cmの位置に播種する。
- 専用の肥効調節型肥料(全量基肥)を種もみと同時に播く。
- 雑草防除は基本的に除草剤を3回散布。①水稲出芽前、②入水前、③入水後

これに代わる、農薬を 使わない除草技術を開発

• 中干しは不要。収穫間近まで湛水状態を維持。



不耕起V溝播種機





雑草管理に失敗した水田の様子



除草剤散布の様子 (入水前)

## 提案募集する技術開発の内容(例)

☆ トラクターに着用する
アタッチメント開発



V直適用型モア、ブラシ除草





詳しい募集内 容(仕様書) はこちら→



https://www.pref.aichi.jp/soshiki/no gyo-keiei/suidenyuuki.html

本田除草ロボット(湛水期)



これらの例に限らず、 さまざまな技術開発の提案 を募集します。 (県農総試との共同研究) V溝直播栽 培について はこちら→



https://www.pref.aichi.jp/soshiki/no gyo-keiei/v-choku.html